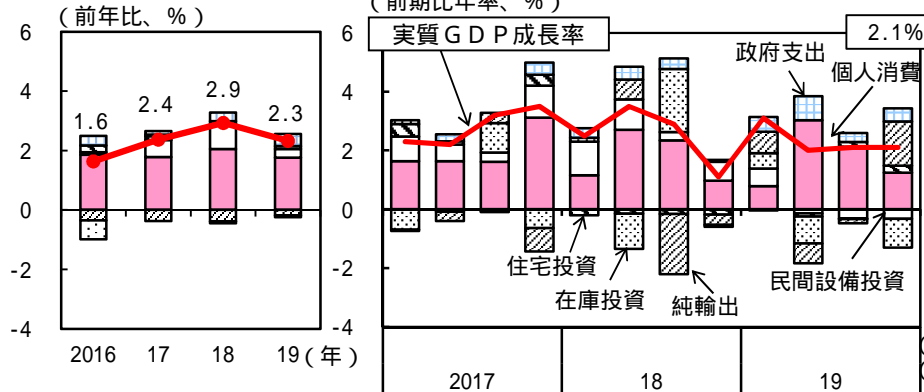


1. アメリカ

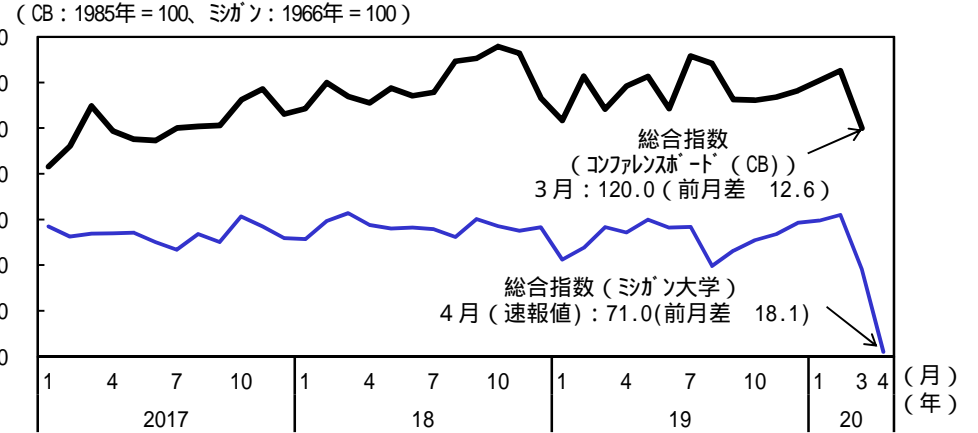
アメリカでは、景気は、感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

実質GDP成長率（3次推計値）
2019年10 - 12月期は前期比年率2.1%成長
(前期比年率、%)

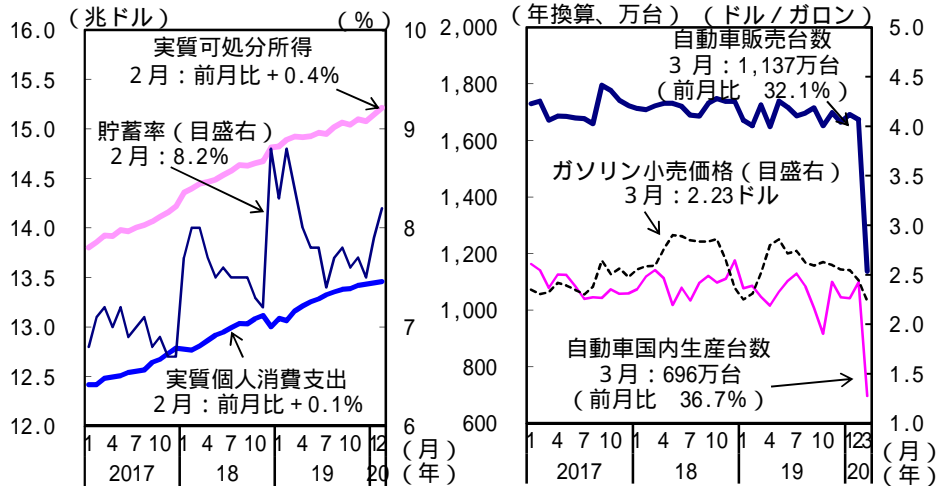


(備考) 2019年10 - 12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.2、民間設備投資：0.3、住宅投資：0.2、在庫投資：1.0、政府支出：0.4、純輸出：1.5。

消費者信頼感指数

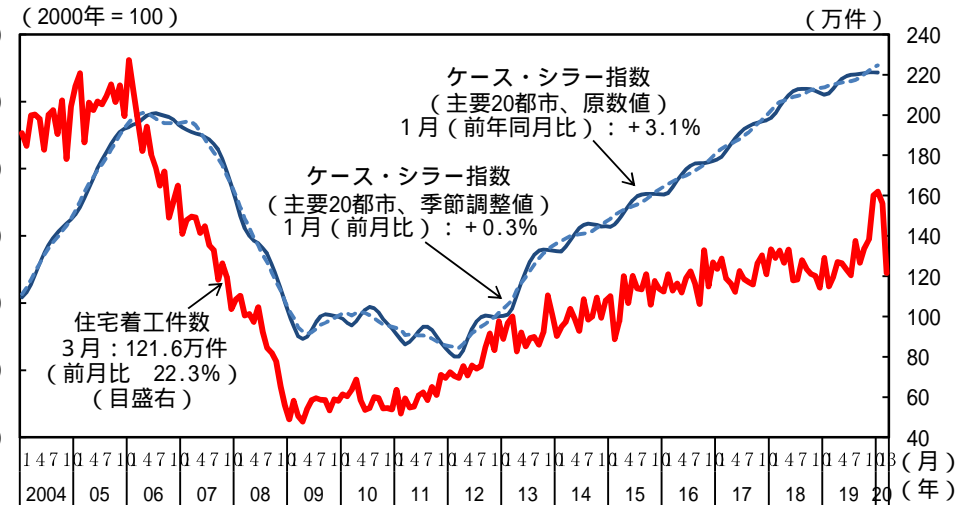


消費は減少、自動車販売台数は大幅に減少

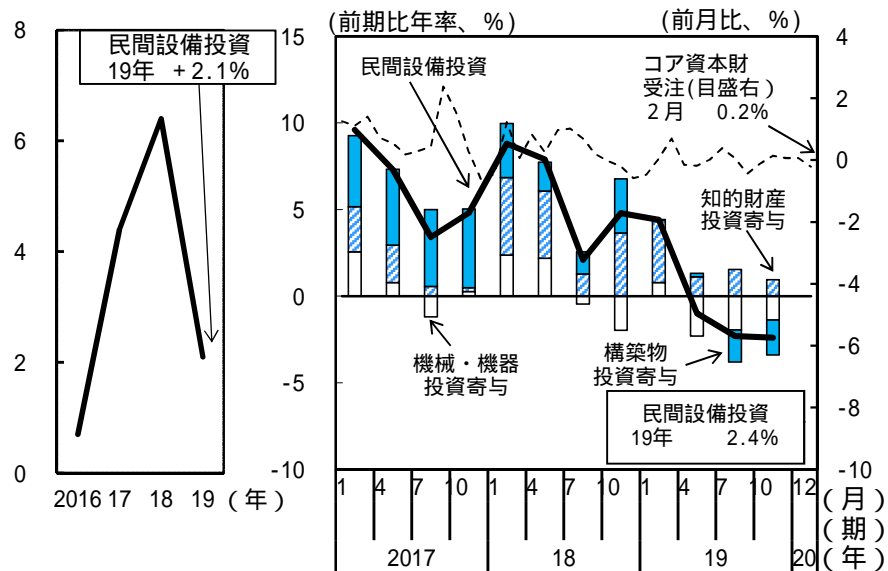


(備考) 月次の値は年率換算。

住宅着工は急速に減少、住宅価格は緩やかに上昇

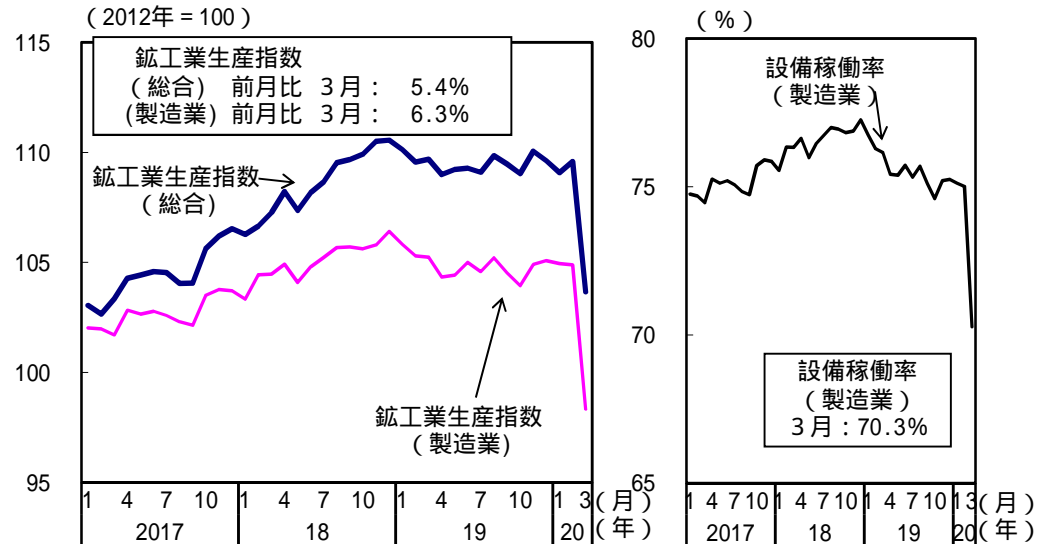


設備投資は減少

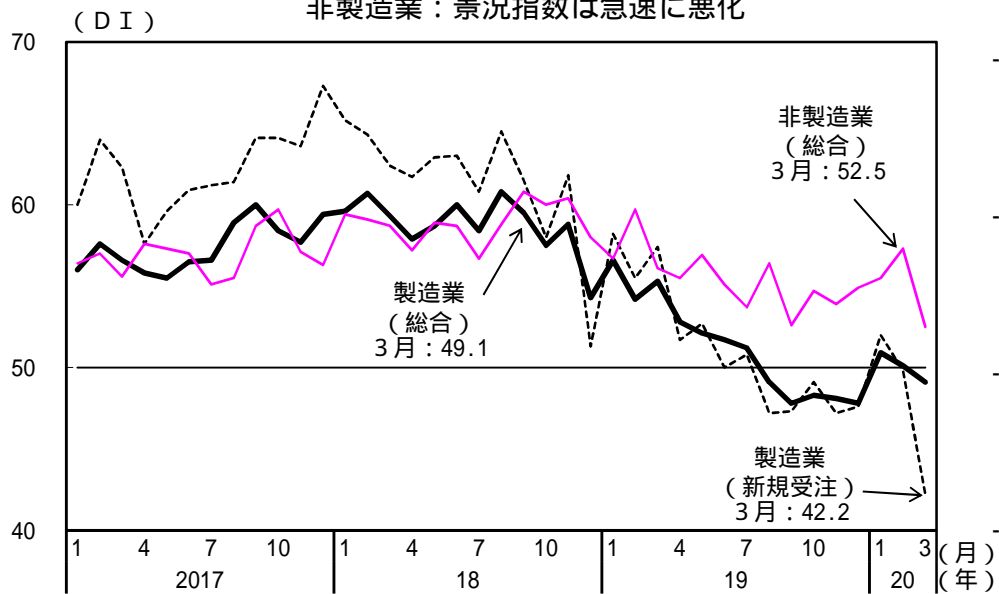


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

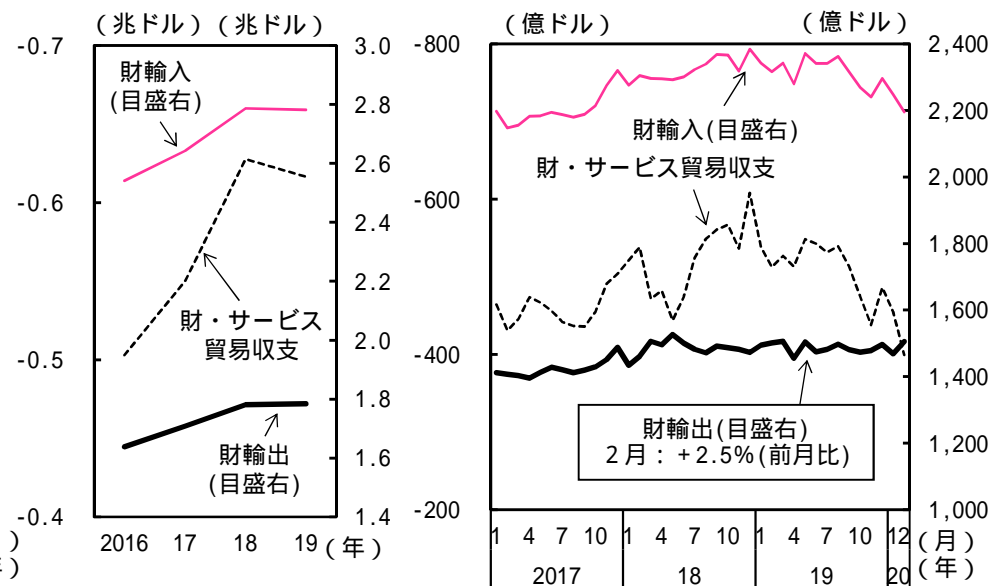
生産は急速に減少



製造業 : 景況指数は低下
非製造業 : 景況指数は急速に悪化

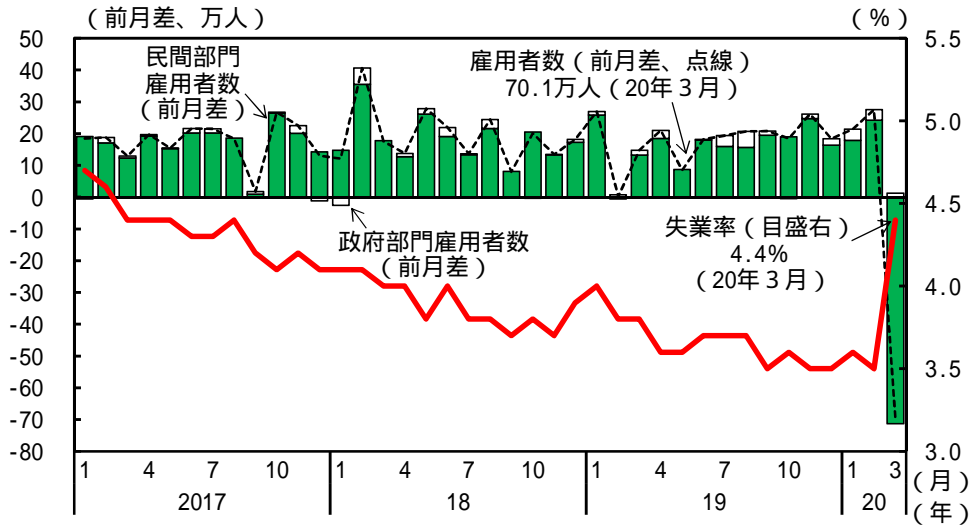


財輸出はおおむね横ばい



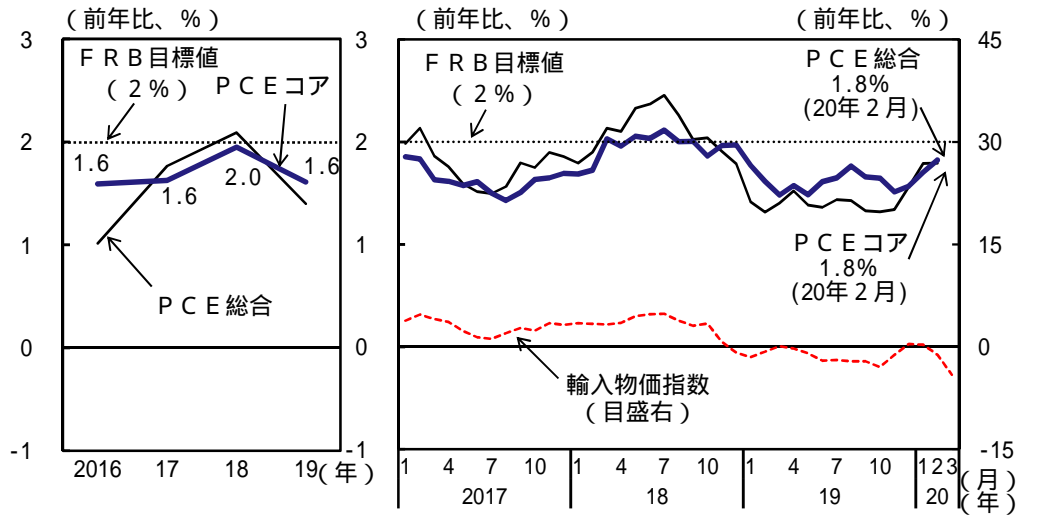
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は大幅に減少しており、失業率は急速に上昇している



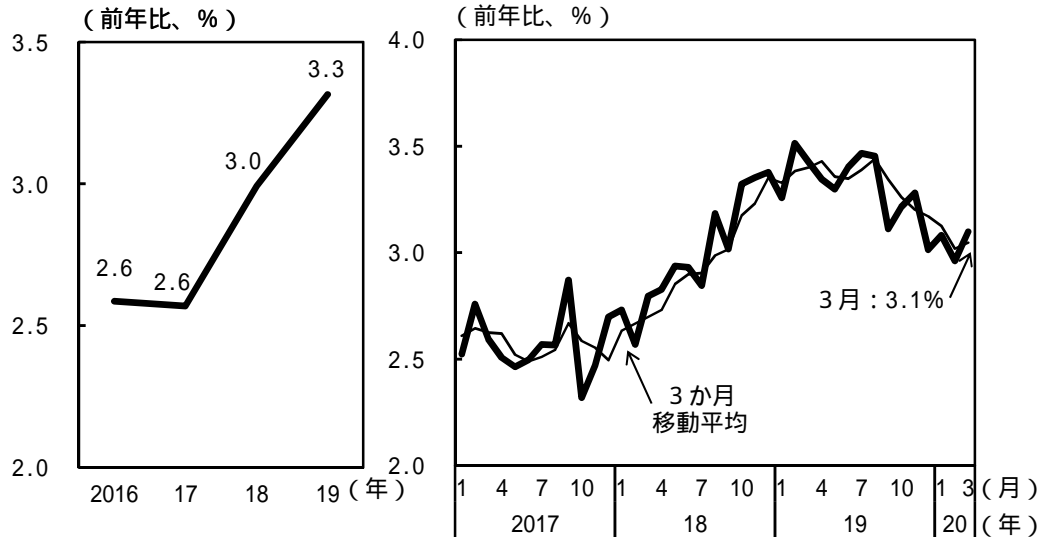
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率は安定



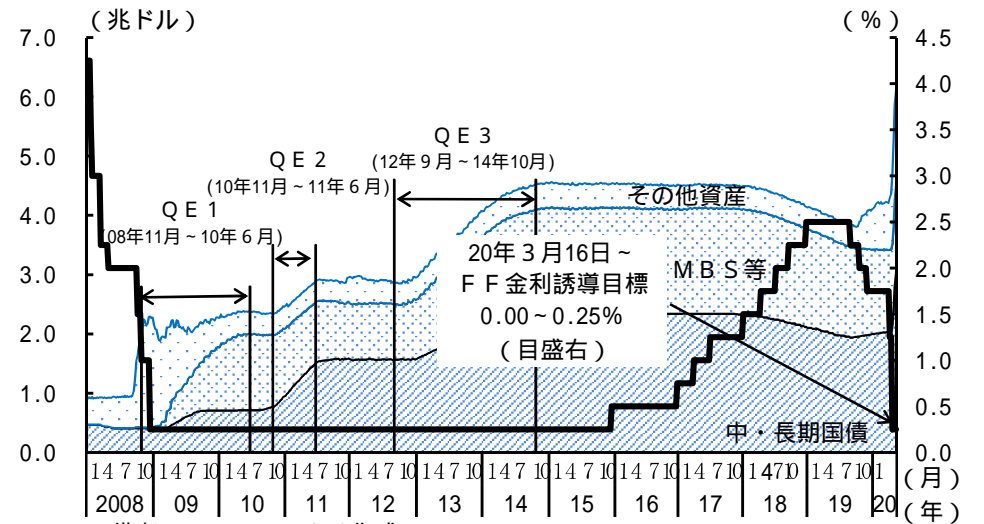
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びはやや低下



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. FFR金利誘導目標については、上限を指す。